

「レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査」に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター脳神経内科 脳外科では、「レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査」に参加することになりました。この研究の目的は、脳卒中急性期の患者さんの診療報酬算定情報（レセプトや DPC データ）を調べて、脳卒中急性期医療の質が患者さんの長期の予後にどのような影響を及ぼしているかを明らかにすることです。この研究のため、2021年4月1日より2025年3月末までに治療した方の入院・外来レセプトの調査を行います。対象となるのは脳卒中や脳神経外科疾患の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（生年月日、性別、発症・入退院年月日、自宅郵便番号、入院経路、診療報酬算定情報（DPC）リハビリテーションの有無、脳卒中・脳神経外科・循環器病関連の診療にかかわる治療内容）です。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。調査したデータは本研究の代表であります国立循環器病研究医療センター内のサーバーに電子的配信で送付され厳重に管理されます。本研究の研究内容、参加施設名、患者さん向けの資料などにつきましては、研究班ホームページ（J-ASPECT Study、<https://j-aspect.jp>）にて随時公開しています。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022年1月

研究責任者

東京医療センター 脳神経内科

安富 大祐

連絡先 03-3411-0111(代表)